

「兵庫ワイルドライフレポート」刊行・投稿規定

(2010年10月制定、2012年6月改訂、2017年11月22日改訂)

I 刊行規定

1. 兵庫県森林動物研究センター(以下、センター)では、「兵庫ワイルドライフレポート」(以下、レポート)において、独立したテーマで完結した論文等を、兵庫県森林動物研究センターウェブサイト(以下、ウェブサイト)において公表する。
2. 「レポート」には、野生動物の保全と管理に関わる業務をおこなっている行政担当者や実務者、技術者、研究者などを読者と想定して、センターの編集委員会の責任の下、野生動物の保全と管理の実務に有益な知見を提供する原著論文及び総説と、資料(以下、論文等)を掲載する

II 投稿規定

1. 投稿案内

原稿は「投稿規定」に沿って執筆すること。規定に従わない原稿は受け付けない。

1) 内容

「レポート」の原稿は、冒頭に記した趣旨に沿ったもので、科学的かつ検証可能な根拠のある未発表の知見を含む原著論文、総説及び資料とする。なお、原稿の区分は以下のとおりとする。

原著論文： 「レポート」の目的に沿った新しい知見や技術を含む研究の成果。

総説： 「レポート」の目的に沿ったテーマについて、既往の研究成果や技術、社会制度等を整理し、分析や考察を加えたもの。

資料： 兵庫県及び近隣府県の野生動物の現状に関するデータや、既存の技術に関する付加情報、社会的な制度や状況の紹介など。

2) 投稿資格

投稿者の資格は問わない。

3) 査読制度

編集委員会は、すべての投稿原稿を査読に付し、「レポート」としての公表の是非を判断する。査読者は原則2名以上とする。

4) 投稿の手続き

原稿の本文及び図、表、写真等（以下、図表等）の説明は、原則としてワードプロセッサを使用して作成し、図表等も含めた MSword ファイルあるいは PDF ファイル形式で提出すること。原稿の形式については、以下の「2. 原稿の形式」を参照すること。

5) 原稿の受理

編集委員会により掲載可と判断された日付をもって受理日とし、受理通知を送付する。

6) 印刷原稿の提出

原則として、原稿の本文及び図、表の説明は、MSword ファイル形式で提出すること。表は、MSexcel ファイル、図は jpg ファイル、tiff ファイル等の一般的なファイル形式で提出すること。また、必要に応じて、編集委員会が指定する様式に従うものとする。

7) 校正

著者による校正は初校のみとする。

8) 著作権の帰属

本誌に掲載される論文等の著作権は、兵庫県森林動物研究センターに帰属する。著者本人を除き、兵庫県森林動物研究センターの許可なくして複製することはできない。

9) 原稿の送付先および問い合わせ先

〒 669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

兵庫県森林動物研究センター内

「兵庫 ワイルドライフレポート・モノグラフ」編集委員会

(レポート編集担当 藤木大介)

電話 (0795) 80-5500 Fax (0795)80-5506

E-mail fujiki@wmi-hyogo.jp

2. 投稿原稿の形式

1) 全体の構成

原稿には、ページ番号を記入する。本文に対する注は通し番号をつけて本文の最後にまとめ、脚注は使用しないこと。原稿の体裁は以下の (1) ~ (7) の順とする。

(1) 表題：

原稿の最初のページに、表題（日本語および英語）、原稿の種別（原著論文、総説及び資料）、著者名・所属（日本語および英語）、住所、e-mail アドレス、及び簡略表題（ランニング・タイトル：25 字以内）を記入する。

(2) 要点

原稿の第 2 ページに、論文の目的と成果および貢献の内容を明確に示す要点を箇条書きで記入する (400 字から 600 字)。

(3) キーワード

表題に含まれない内容を適切に表す語句 5 つ以内で簡潔に記す。

(4) 英文要旨 (200 語以内)

(5) 本文

本文は第 3 ページから書きはじめる。

(6) 謝辞

謝辞の位置は本文末と文献の間とし、研究助成金等の記述については謝辞の最後に記載する。

(7) 引用文献

本文中の引用文献は、著者姓 (西暦年号) で示し、引用文献は著者姓の ABC 順に稿末に一括記載する。

・本文中での文献の引用

著者が 3 名以上のものについては第 2 著者以降について、和文のものは「…ほか」、英文のものは「…et al.」とする。

○論文・単行本

例)

田中・佐藤 (1932) はイノシシが……

……シカの採餌行動に影響を与える (高橋 1976, 1977a, b; Sasaki 1979; Allen et al. 1990; Tanaka 印刷中)。

サルの産子数と相関する (Moran and Lindgren 1980)。

○ウェブサイトの例

ウェブサイトは、適した論文等がない場合に限り引用できる。発行者と発行年が明らかかなものは、文献の引用方法と同様とする。

例) ツキノワグマは本州と四国に生息する (ツキノワグマ情報交換会 2011)。

発行年が不明の場合や逐次更新されている場合は、本文中に URL と最終確認年月日を記述する。発行者が不明の場合は、原則として引用を避ける。

例) 環境変数は自然環境保全基礎調査第 6・7 回 (環境省、http://www.biodic.go.jp/kiso/fnd_f.html、最終確認日 2014 年 1 月 9 日) からデータを取得し、

・文献リスト

出版年が同一のものは、年の後に小文字アルファベット (abc) を付して区別する。著者が3名以上で第1著者・出版年が同じ文献についても同様に区別する。各文献は下記の例にならって記載すること。雑誌名は省略しない。

○ 雑誌からの引用

<著者名 (発行年) 表題. 雑誌名, 巻:初頁-終頁>

例)

浅田 正彦 (2014) 階層ベイズモデルを使った除去法によるアライグマ *Procyon lotor* の個体数推定. 哺乳類科学, 54:207-218

Crooks KR, Soule ME (1999) Mesopredator release and avifaunal extinctions in a fragmented system. *Nature*, 400:563-566

Yamada T, Ngakan OP, Suzuki E (2005a) Differences in growth trajectory and strategy of two sympatric congeneric species in an Indonesian flood-plain forest. *American Journal of Botany*, 92:45-52

Yamada T, Suzuki E, Yamakura T, Tan S (2005b) Tap-root depth of tropical seedlings in relation to species-specific edaphic preferences. *Journal of Tropical Ecology*, 21:155-160

○ 単行本・報告書の引用

<著者名 (発行年) 表題. 出版社, 出版社所在地>

例)

宮下 直, 野田 隆史 (2003) 群集生態学. 東京大学出版, 東京

○ 単行本から一部を引用

<著者名 (発行年) 表題. (編者名) 書籍表題, 初頁-終頁. 出版社, 出版社所在地>
<Author (year) Title. In: Editor of book (ed), Book title, first page-end page. Publisher, City>

例)

鷺谷 いづみ, 村上 興正 (2002) 日本における外来種問題. (日本生態学会 編) 外来種ハンドブック, 6-8. 地人書館, 東京

Saeki M (2009) *Nyctereutes procyonoides* (Gray, 1834). In: Ohdachi SD, Ishibashi Y, Iwasa MA, Saitoh T (eds), *The Wild Mammals of Japan*, 216-217. Shoukadoh Book Sellers and the Mammalogical Society of Japan, Kyoto

○ ウェブサイトの引用

<作成者 (発行年) 「“ウェブサイトの名称”」 URL, 確認日>

ウェブサイトの名称や発行年が不明な場合は省略してもよい。

例)

環境省 (2009) 「自然環境保全基礎調査植生調査第6回・第7回植生調査」

2) 文章の書き方

- (1) 対象読者である、野生動物の保全と管理に関わる業務をおこなっている行政担当者、研究者、民間の技術者などに、わかりやすい構成や用語、表現で記述すること。
- (2) 論文等の目的と成果、保全と管理の実務に貢献すると期待される内容、およびその根拠が明確で、かつできる限り簡潔な文章であること。

3) 図表の書き方

- (1) 図表は本文中に入れずにそれぞれ別紙に作成する。図表の挿入箇所は、本文中に専用の行を設けて記す。写真を図版として掲載する場合には、印刷面のサイズ(17 × 24 cm以内)に合うようにレイアウトする。
- (2) 各図表・写真等の説明文(キャプション)は別紙にまとめ、本文の後につける。説明は和文で記述し、本文の説明がなくても分かるように詳細に記述する。
- (3) 著者以外が作成した図表・写真等を転載する場合は、著者の責任において投稿前に著作権者の許可を受けること。